

2016年
新年号

～ 加戸病院通信 第57号 ～



ハンド イン ハンド hand in hand



医療法人弘友会
加戸病院

〒791-3301 愛媛県喜多郡内子町内子 771 番地 TEL : 0893-44-5500 FAX : 0893-44-3300
E-mail : koyukai@kato-hp.jp URL : http://kato-hp.jp/

年頭のご挨拶

『明けまして
おめでとうございます』



・（医）弘友会 理事長
・加戸病院 院長
・外科・肛門科医長
か と しゅういち
加戸 秀一

明けましておめでとうございます。

子供の頃からなぜか1月1日は晴天の記憶がありません。ただ、年末より曇っていても明るく感じ、寒さも凍える寒さから身の引き締まる寒さのように私は感じていました。おそらく年の暮れから新年になることを意識しているがためにそう感じているのでしょう。さて、年が明け昨年のTPP大筋合意から世の中の情勢が徐々に変わっていきます。医療福祉に関してはアジア各国からの労働力が入ってくるであろうと言われ、実際に某人材派遣会社が数年前より東南アジアに看護師や介護士の学校をつくりTPPに備えてきたとの話を聞きます。人件費の問題や今後のさらなる高齢化による労働力不足という問題に対し

ては選択しうる手段だとは思いますが、ただ医療、福祉のサービスを受ける人間は日本人です。このような問題の解決法は多民族、多文化国家のアメリカでは有効な解決法ですが、世界的にも類を見ないまさにガラパゴスのような文明の日本にこの解決法が当てはまるのか甚だ疑問です。年末に車の中で聴いたラジオによると日本には「甘やかす」文化があるそうです。そして部外者に対し甘やかし喜んでもらうことで幸せを感じるそうです。そのために日本旅行をした外国人は日本での旅行に満足し、リピーターになるという話でした。日本人は部外者に対し「甘やかす」をしますが、迷惑をかけることを「恥」と思っているため仕事に関しては厳しく指導すること

になるでしょう。他にない独特の文化の中で常に人とかかわっている医療、福祉の仕事が務まるでしょうか？私はTPPIにおける労働力の問題は医療、介護の分野では脅威ではないと思っています。ただ、他者に喜んでもらうことを自分の幸せとして感じられる

本来日本人が持っている感覚を失っていないことを前提とした話です。私達は日本人らしい感覚を失うことなく今年も医療、福祉に従事していきたいと思っております。

第13回 加戸病院健康セミナーを開催しました(H27.10.24)

テーマ：「その咳大丈夫？ ～思わぬ病気が潜んでいるかも～」
講師：加戸病院 呼吸器内科医長 平澤 泰ゆたか

今回の健康セミナーは当院の呼吸器内科平澤医師が「その咳大丈夫？思わぬ病気が潜んでいるかも」と題して講演しました。今年も百数十名のご参加をいただき健康についての関心の高さを感じました。

講演の内容ですが、昔は呼吸器の病気は喘息と診断されることが多く、検査方法も単純なものしかありませんでしたが、最近は検査方法や治療方法なども多様化しているとのことでした。

「咳」というのはごく一般的な症状ですが、気道内にある分泌物や吸い込まれた異物(ウイルスやほこりなど)を気道外に排除するための生体防御反応です。感染性による咳がいそう嗽は3週間までは急性咳嗽といい、8週間以上続く咳嗽を慢性咳嗽といいます。痰がからむ咳は湿性咳嗽といい、その原因は慢性気管支炎など、痰のからまない咳を乾性咳嗽といい、その原因は咳喘息、アトピー咳嗽などです。当院での臨床経験では急性気管支炎、喘息、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、肺炎などが主な症例としてあります。

自分でもできるケアとして、「しょうが」「はちみつ」「しいたけ」「れんこん」など、のどに良い食品を食べる方法があります。ただし、「しょうが」は血圧が上がるので血圧の高い方は気を付けた方がよいでしょう。のどをケアする生活習慣として、「マスクをする」「お茶を飲む」「室内をこまめに掃除する」などがあります。「たばこ」「適量以上のアルコール」「刺激の強い香辛料」は避けた方がよいとのことでした。今回の講演は、かなり専門的な話で難しかったといったご意見もありましたが、症状をよく把握分析し、きちんと病気と向き合って対処していくことが大切であると感じました。



加戸病院 事務長 大野 隆司

《栄養だより》

ビタミンシリーズ（^-^）第4回 ビタミンK

管理栄養士 神野 愛子

ビタミンシリーズも早いもので4回目となりました。
今回はビタミンKについて紹介したいと思います。

ビタミンKを多く含む食材

納豆や緑黄色野菜（モロヘイヤ、あしたば、
つるむらさき、ほうれん草、春菊など）

**特徴**

ビタミンKは油脂に溶ける脂溶性ビタミンのひとつで、熱に強く調理損失が少ないという特徴があります。

ビタミンKは食品からの摂取だけでなく、体内の腸内細菌によっても産生されている為、通常の場合は不足する心配はほとんどありませんが、抗生物質を長期間に渡って服用している場合は、腸内細菌からの産生が抑制される為、不足することもあります。

働き**① 血液の凝固や止血に関与する。**

ビタミンKは血液凝固因子が合成されるのを促します。その為、ビタミンKが不足すると、出血の際、血液凝固が起こりにくくなり止血に時間がかかるようになります。

② 骨の形成に関与する。

ビタミンKにはカルシウムが骨を形成する時に必要なたんぱく質を活性化させる働きがあり、骨の形成に重要な役割を果たしています。この為、ビタミンKは骨粗鬆症の治療薬としても使われます。

ビタミンKと抗凝血薬ワーファリン

ビタミンKは血液を固まりにくくする抗凝血薬ワーファリンの作用を阻害する恐れがあります。その為、ワーファリンを処方されている場合は、ビタミンKを多く含む食品を摂りすぎないように注意しましょう。



☆子育て応援企業コンテスト県知事賞受賞☆

医療法人弘友会が「第5回えひめ子育て応援リーダー企業コンテスト」で愛媛県知事賞を受賞しました。弘友会はこれからも子育て支援の充実に努めてまいります。

【主な両立支援制度・実績】

- ・法を上回る育児休業制度（期間の延長・一部有給化）及び所定労働時間の短縮制度（期間の延長）。
- ・男性の育児休業取得者あり。
- ・事業所内保育施設（かと保育園）の運営。



外来担当医

（平成28年1月1日現在）

※ 手術などのため、変更になる場合があります。

※ 火曜日の午前、城戸美穂医師（女医）による子宮がん検診を実施しております（予約制）。

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	平澤		平澤	平澤	平澤／奥嶋	平澤／東 淡野（2回/月）
	午後	平澤 （予約のみ）		平澤 （予約のみ）	平澤 （予約のみ）	奥嶋 平澤（予約のみ）	
外科	午前	下田	加戸	下田	加戸	小川 下田	加戸
	午後	下田 16:30～17:00	下田	加戸	下田	小川	
整形外科	午前	城戸 鴨川（第1月曜） 完全予約制	城戸	城戸	柴田	城戸	柴田
	午後	城戸 16:00～					
脳神経 外科	午前		穴戸 9:30～			穴戸 9:30～	